

2019 年 10 月 23 日

日本初となるカーボンニュートラル都市ガスの供給開始について

東京ガス株式会社
丸の内熱供給株式会社
三菱地所株式会社

東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）と、丸の内熱供給株式会社（社長：田島 穰、以下「丸の内熱供給」）は、本日、日本初となるカーボンニュートラル都市ガスの供給に関する基本合意書（以下「本合意書」）を締結しました。2020 年 3 月より、三菱地所（社長：吉田 淳一）が所有する東京都千代田区のオフィスビル 2 棟で使用を開始します。なお、契約期間は 2025 年 2 月末までの 5 年間です。

カーボンニュートラル都市ガスは、東京ガスがシェルグループ（以下「シェル」）から購入したカーボンニュートラル LNG を活用したもので、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する CO₂ が、シェルの保有する CO₂ クレジット*で相殺（カーボン・オフセット）されています。

本合意書に基づき、丸の内熱供給 は 2020 年 3 月より、「丸の内ビルディング（東京都千代田区、以下「丸ビル」）」で同社が運用・管理する固体酸化物形燃料電池（以下「SOFC」）と、「大手町パークビル（東京都千代田区）」で同社が運用・管理する地域冷暖房プラント内のガスエンジンコージェネレーションシステム（以下「CGS」）それぞれで使用する都市ガスの全量について、カーボンニュートラル都市ガスを使用します。

丸ビルでは、SOFC とマイクロガスタービンを組み合わせた最先端の高効率な発電システムを 2019 年 3 月より採用しており、同ビル内での使用電力の一部を供給しています。本システムにより、電力使用時の CO₂ 排出量の大幅な削減を実現します。

大手町パークビルの CGS は、同ビル内の地域冷暖房プラントに 2017 年 2 月に導入したもので、大手町エリアのオフィスビルで使用する電力・熱エネルギー供給の一端を担っています。発電に伴い発生する熱を有効活用することにより、CO₂ 排出量の削減を実現しています。

丸の内熱供給および三菱地所は、カーボンニュートラル都市ガスを調達することで、環境に配慮した強靱な熱のネットワークを構築し、防災機能の向上にも寄与する地域熱供給事業において更なる環境負荷削減に貢献するとともに、まちづくりを通じて持続可能な社会を実現するための先進的な取り組みを進めてまいります。

東京ガスは、カーボンニュートラル都市ガスの供給など、新たな低炭素商材を提供することで、お客さまとともに低炭素化の取り組みを推進し、エネルギーの供給を通じて環境に優しいまちづくりに貢献してまいります。

*対象となる CO₂ クレジットは、信頼性の高い検証機関が世界各地の環境保全プロジェクトにおける CO₂ 削減効果を CO₂ クレジットとして認証し、シェルが購入したものです。

<供給概要>

供給サイト：丸の内ビルディング

採用機種：三菱日立パワーシステムズ株式会社製 固体酸化物形燃料電池 (SOFC)
マイクロガスタービン (MGT) ハイブリッドシステム 200kW

供給量：40万m³/年

供給開始時期：2020年3月

供給サイト：大手町パークビル

採用機種：ヤンマーエネルギーシステム株式会社製 CGS 370kW

供給量：30万m³/年

供給開始時期：2020年3月

	
丸の内ビルディング	大手町パークビル
	
丸ビル採用の SOFC	大手町パークビル採用の CGS